

平成30年度第2回加東市文化財保護審議会次第

平成31年3月2日(土) 午前10時～12時
滝野公民館 2階 講座室

1 開 会

2 挨拶

3 会議内容

(1) 審議事項

- ・加東市指定文化財の指定について(答申)
厚利地区所蔵「木造獅子・狛犬」5躯

(2) 報告事項

- ・平成30年度加東市文化財事業報告及び平成31年度加東市文化財事業(案)
- ・平成30年度重点事業「加東市×多摩美 特別展 神・仏・人 心願の地」について

(3) その他

- ・平成30年度寄贈・寄託資料について

4 視 察

- ・加東市文化財収蔵施設 資料館寄贈・寄託資料見学

5 閉 会

平成 31 年 3 月 日

加東市教育委員会 様

加東市文化財保護審議会
会 長 瀧 原 務

加東市指定文化財について(答申)

平成 30 年 8 月 1 日諮問第 1 号の物件について、加東市文化財保護条例（平成 18 年加東市条例第 103 号）第 48 条の規定により下記のとおり答申します。

記

諮問のあった次の文化財については、加東市指定有形文化財に指定することが適当であると認めます。

指定する文化財の申請者、名称および員数

1	申 請 者	厚利地区
	名 称	木造獅子・狛犬
	員 数	5 軀
	番 号	6 4
	法 量	① 像高 730mm、膝張 360mm、奥行 420mm ② 像高 725mm、膝張 320mm、奥行 400mm ③ 像高 520mm、膝張 230mm、奥行 260mm ④ 像高 520mm、膝張 260mm、奥行 410mm ⑤ 像高 550mm、膝張 320mm、奥行 320mm

内 容

本資料は、厚利山王神社の本殿修理事業に伴う調査によって平成25年度に発見され、本殿内陣に全5軀が安置されていた。本殿修理事業完了後の平成26年度より、加東市に寄託され、現在は収蔵施設にて管理されている。5軀の像のうち、その形状や法量・作風等から、①②を大型、③④⑤を小型として区別することが可能であり、ここではそれらを分けて所見を記載する。

我が国に伝わる獅子の初期的造形として、飛鳥時代の7世紀初頭の法隆寺金堂薬師如來坐像が安置される木造二重の須弥座には各一軀ずつ描かれていることが知られている。また、続く白鳳時代には山田寺金堂址からは基壇西側の耳石に浮き彫りが刻まれていることや、法隆寺金堂壁画等に作例が散見される。さらに加東市近隣の古作例として、白鳳時代に成立したと考えられる古法華石仏の下方に陽刻される獅子が伝わることを記さなければならない。

一方、現存作例を鑑みると、我が国で獅子が大いに制作されるようになったのは平安時代以降と考えられている。言うまでも無く「獅子」とは元来ライオンのことであり、造形の源は古代エジプトにも遡る他、仏教が生まれたインドにも古くからの作例が伝わっている。これら地域では、獅子とは偉人や権威をライオンになぞらえた存在であり、例えばアショーカ王柱等は王権の象徴としてつとに知られ、仏教での用例としては釈迦が説法する様子を「獅子吼」と呼び、仏の座る処または床を「獅子座」と名付ける。

一方、インドには獅子は、尊者や権威の対象を守護する役割もあり、日本人にとってはむしろこの方に馴染みがあろう。釈迦の遺骨を納めるストゥーパの門、宮殿の入り口にも配された。その際に獅子は対の造形であらわされることが一般的であり、東アジアの仏教美術でも対となる一具性が踏襲されている。

ここでは、対で「獅子」と総称してきたが、平安時代になると対の片方を「獅子」、別の一方を「狛犬」とする制が始まった。「狛犬」という名称は『多度神宮寺資財帳』（延暦20年（801））に「高麗犬」とあるのを初見とし、「狛犬面二面」という記述が『安祥寺資財帳』（貞観13年（871））にある。

狛犬と獅子の差異としては、頭頂に生える角の有無を造形の識別とすることが多いが、『西大寺資財帳』（宝亀11年（780））の記載として「大獅子一頭」の注記に「頂に白木の角形あり」とあり、元々獅子として一括されていた時代にもすでに角の造形があり、後世に狛犬・獅子の別称となると、角は狛犬のシンボルとなっていった。

では、上記の変遷をふまえ厚利山王神社に伝わる像をみると、小型の3軀（③・④・⑤）のうち、③・⑤の頭頂には角があることが確認され「狛犬」と呼称することができる。④は頭頂部を欠損しており、「狛犬」「獅子」の識別は決しがたい。また頭部を見ると、④・⑤は面部を欠損しているが、欠損の形状から察するに、別材を刳いでいたことが考えられ、その共通性がある。また、像高や胸の位置および造形も近似するものがある。欠損部位が多く、対であることは明確に指摘は出来ないが両像の遠からぬ関係を考えることができよう。

一方、③の像を見てみると、体側部がやや平板でありながらも頸元から胸部にかけてが大きく丸みを帯びており、他2軀と比較すると幾分かずんぐりした姿である。加え後頭部の造形もやや角張り、造形性の相違が見られる。

これら3軀共に、剛毅に前足を踏ん張る仕草で背筋を立てて顎を引き、頭部を正面に向ける姿勢をと

る。その体軀の肉身表現は隆起が穏やかである他、腰から臀部が小ぶりであることが指摘でき、全体として瀟洒な印象を持っている。全体的に摩耗が進み、各像共に前脚またはその一部を欠損する。前述のように2軀は面部を欠し別材を矧いでいたと考えられるが、その他頭部・体幹部共に一材からの彫出である。

穏やかな体軀表現と腰から臀部の小ぶりな造形としては南北朝期の狛犬・獅子に散見される特徴であり、基準作例ともなる滋賀県長浜市・比伎多理神社（長祿4年（1460）銘）の作例に通じるものがある。これら3軀共に同じ頃の作として大過なきことと思われるが、背筋を立てて顎を引く像が滋賀県大津市・小野道風神社おののとうふうじんじや（南北朝～室町時代）のような時代を遡る作例にも見られることを踏まえると、やや時代の幅を持たせ南北朝～室町時代（14世紀～15世紀頃）とするのが妥当であろうと考える。

次に、大型の2軀の像（①・②）については、両前脚を地につけ臂を伸ばし、後ろ脚は蹲踞そんきよの形をとる通例の狛犬・獅子像である。欠損や風化が目立つが、素材が持つ塊量感を目をみはるものがある。

①の像に残る面部には口が開く造形があることから、「獅子」とすることができる。口腔の中心には楕円状の造形が観察できるが、これは舌根をしめしていようか。本像は頭部をやや左側に向けつつ、首を右に傾ける。また後頭部から首側面と背面にかけては鬣たてがみが彫出され、巻き髪が表されている。胸部を見ると、その左右の両前脚付け根部には各筋肉が隆起し、胸部中央には別の隆起を表している。各隆起が3つ並びつくられる胸部は豊かな立体感を以って本像に力強さを与えている。また左前脚をみると、上臂にも隆起する筋肉を刻出し、ここからも力強さを表現する写実的造形を看取することができよう。顎の先と鼻、眼部を表す別材と腰から臀部にかけても別材を矧ぎ、共に欠損している。

②の像は、体前から面部、頭頂部を欠損。欠損の状態により頭頂部は別材を矧いでいたことが推測される。また同じく別材で矧ぐ腰から臀部には火中痕が残る。左前脚の下臂を欠損している。

このように欠損部位が目立つものの、残存する造形からは、頭部を右側に向ける姿そして、後頭部から背中にかけては束に分けられ鋒きつさき状を呈する鬣が観察できる。体幹部は引き締まり、やはり両前脚の付け根付近には筋肉の盛り上がりをしめす隆起の造形がある。これら造形的特徴および造形性は前述の獅子に共通すると同時に、鬣の差異については、一對をなす宮城県松島市・日吉山王神社や宮城県名取市・高館熊野神社たかだてくまのじんじや等にも作例があり、鋒状の髪束を示す像は口を閉じる狛犬である。これらから、本像についても上記「獅子」と對をなす「狛犬」として考えることに妥当性がある。

①・②の像が備える写実を追求する体軀表現と自然な仕草には勇壮さと精悍な姿があり、それら容姿は滋賀県大津市・神田神社の狛犬・獅子等の鎌倉時代の制作と考えられる像に通じるものがある。これら特徴や類似作例から鑑み、本2軀の制作年は鎌倉時代と考えてよからう。また、やや仕草に落ち着きが柔和さも観じられることから、鎌倉時代13世紀頃を提示しておきたい。

本資料は、市内で確認できる木造獅子・狛犬の数少ない遺例であり、特に①・②の像については、その中でも最古級の作例として位置付けることができる。

また、山王神社の所在する厚利地区については、貞應2年（1223）編纂の『耀天記』等に、播磨国東厚利庄が近江国日吉大社で奉納される御神楽の勤役を担っていたとする記述がみられ、現在の山王神社周辺が13世紀以降、日吉大社の神領地であった可能性が示唆されている。こうした史料の記載とも年代的に合致し、日吉大社領である東厚利庄に存在した鎮守社に安置された可能性が指摘できるため、本資料は、厚利山王神社の歴史の変遷を考える上でも非常に貴重な資料であるといえる。

No.2



No.1



No.4



No.3



No.5



- ・平成30年度加東市文化財事業報告及び平成31年度加東市文化財事業（案）について

○平成30年度加東市文化財事業報告

文化財保護対策事業

防火設備管理事業（朝光寺、住吉神社本殿、若宮八幡宮本殿）

後継者育成事業（秋津百石踊、朝光寺鬼追踊、黒谷柱祭、上鴨川住吉神社神事舞）

埋蔵文化財調査事業

市内試掘・確認調査事業

資料館管理運営事業

「見る触れる」文化財教室事業（資料3）

資料館外壁改修工事

平成30年度重点事業「加東市×多摩美 特別展 神・仏・人 心願の地」（資料4）

武家屋敷内井戸上屋修繕事業（資料5）

その他普及啓発事業

河高地区歴史学習会への資料貸し出し及び解説（12月）

やしろ歴史民俗研究会での講演（1月）

文化財防火デーに併せた上鴨川地区への講話（1月）

○平成31年度加東市文化財事業（案）

文化財保護対策事業

防火設備管理事業（朝光寺、住吉神社本殿、若宮八幡宮本殿）

後継者育成事業（秋津百石踊、朝光寺鬼追踊、黒谷柱祭、上鴨川住吉神社神事舞）

上鴨川住吉神社割拝殿保存修理事業（資料6）

埋蔵文化財調査事業

資料館管理運営事業

文化財企画展（仮）の実施

「見る・触れる」文化財教室事業

平成30年度 加古川流域滝野歴史民俗資料館講座―「見る・触れる」文化財教室― 概要

趣旨

加古川流域滝野歴史民俗資料館が所蔵している文化財を広く市民の皆様に紹介することで、資料館の利用を計るとともに、文化財への造詣を育んでいく。

講座は年4回とし、資料館の所蔵品はもとより、個人や地区より寄託された資料や、文化財係が調査・整理をおこなっている資料を随時紹介する。

主題を、「見る・触れる」文化財教室としているように、体験学習型の講座として、実物に触れる機会を提供することで文化財への造詣を深めていただく。

募集方法

募集は、広報かとう、市ホームページ、ケーブルテレビ等を活用する。

募集内容

第1回目 日 時：平成30年4月28日（土）10：00～11：30

（終了）場 所：加古川流域滝野歴史民俗資料館

内 容：加東の古絵図に触れる

参加者：5名

第2回目 日 時：平成30年7月21日（土）13：30～15：30

（終了）場 所：加東市滝野公民館2階 多目的室

内 容：加東の古代寺院に触れる

参加者：20名

第3回目 日 時：平成30年10月27日（土）13：30～15：30

場 所：加東市社公民館2階 研修室

内 容：平成30年度加東市発掘調査報告会

参加者：29名

第4回目 日 時：平成31年3月予定

場 所：加古川流域滝野歴史民俗資料館

内 容：未定

定 員：20名



平成 30 年度『見る・触れる』文化財教室 講座風景

平成30年度重点事業『加東市×多摩美 特別展「神 仏 人 心願の地」』 開催概要

企画概要：

地域には、原始・古代から現代にいたるまで様々な人々の営みの痕跡が残されており、それらは俗に文化遺産と呼ばれ、人々によって大切に守り伝えられてきています。

加東市教育委員会では、そうした様々な文化遺産の保護や活用、また、これまであまり目に留まることのなかった新たな資料の掘り起こしを行い、各地域の普及・啓発を目的とした各種展覧会を積極的に推進してきました。

しかしながら、これらの展覧会は市内やその周辺の住民向けに報告する目的で開催してきたため、その周知範囲は地域住民に留まり、市外や県外など、より広い範囲の人々には、加東市の歴史的風土や特色について知っていただく機会は設けてきませんでした。

これらの状況を踏まえ、人口の密集している首都圏において加東市に所在する文化財を展示・解説する展覧会を下記の通り開催し、加東市の文化を広く知らしめます。

- ・展覧会名 加東市×多摩美 特別展「神 仏 人 心願の地」
- ・開催期間 2018年9月1日（土）～10月14日（日）
- ・開館時間 10：00～18：00（最終入館は17：30）
- ・休館日 毎週火曜日
- ・会場 多摩美術大学美術館〒206-0033 東京都多摩市落合1-33-1
Tel. 042-357-1251/Fax. 042-3571252/E-mail. museum@tamabi.ac.jp
- ・主催 兵庫県加東市 多摩美術大学美術館
- ・協力 加東市教育委員会
- ・後援 兵庫県教育委員会 西国三十三所礼所会
- ・入館料 一般300円（200円） 大・高校生200円（100円）
障がい者および付添者 中学生以下は無料
※（ ）は20名以上の団体料金
- ・アクセス 多摩センター駅 徒歩7分（京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール）
- ・イベント トークセッション「世界にひとつ！加東遺産を語る」
9月1日（土） 13：00～15：00
 - ・基調講演「加東市の歴史と文化」
講師 森下大輔 氏（元加東市教育委員会文化財係）
 - ・クロストーク「京へ続く丹波道-合戦の記憶と文化を運んだ道」
パネラー 森下大輔 氏（元加東市教育委員会文化財係）
藤原 光平（加東市教育委員会生涯学習課 文化財係主査）
淵田 雄（多摩美術大学美術館 学芸員）

講演会

- ・9月16日（日）14：00～15：30
「加東市の仏像と文化財保護への試み」
講師 櫻庭裕介氏（仏像修復家）
- ・9月17日（月・祝）14：00～15：30
「播磨国風土記にみる村・墓・まつり—加東市の遺跡と景観—」
講師 藤原 光平（加東市教育委員会生涯学習課 文化財係主査）
- ・9月23日（日）14：00～15：30
「播州清水寺の白鳳仏—銅像菩薩立像—」
講師 淵田 雄（多摩美術大学美術館 学芸員）
- ・10月7日（日）14：00～15：30
「花ひらく民俗文化—祭りと芸能—」
講師 小栗栖健治氏
(神戸女子大学古典芸能研究センター客員研究員)

各回 定員100名（当日先着順）参加費無料（但し要入館料）予約不要

会場 多摩美術大学美術館B1階多目的室

ギャラリーツアー

9月9日（日）、9月30日（日） 14：00～14：45

担当 当館学芸員

参加費無料（但し要入館料）予約不要

本件担当者連絡先

○多摩美術大学美術館

学芸員 淵田雄（ふちだ たけし）

東京都多摩市落合 1-33-1 TEL：042-357-1251

○加東市教育委員会 生涯学習課文化財係

主査 藤原光平（ふじわら こうへい）

兵庫県加東市下滝野 1369 TEL：079-548-3046

○古墳・古代寺院

No.	通称	員数	指定種別	資料種別	所有者等	年代	法量		備考
							本体	台座	
1	佐保神社本體(藤原風土記)	1冊	未指定	歴史資料	佐保神社	江戸～明治時代	縦280mm×横200mm	-	加東市収蔵施設より搬出
2	尾崎家本[藤原風土記]	1冊	未指定	歴史資料	加東市	明治時代～	縦280mm×横200mm	-	加東市収蔵施設より搬出
3	河高・上ノ池遺跡出土品	14点	県指定	考古資料	加東市	古墳時代(古世紀)	いずれも10cm四方以内(コンテナ2箱分)	-	加東市収蔵施設より搬出
4	石高山上ノ塚遺跡出土資料	9点	未指定	考古資料	加東市	古墳時代(古世紀)	坏身2点、坏蓋2点、蓋2点、把手付銅点、石製騎馬車1点、勾玉1点(コンテナ1箱分)	-	加東市収蔵施設より搬出
5	小丸山1号集土資料	13点	未指定	考古資料	加東市	古墳時代(古世紀)	坏身2点、坏蓋2点、玉釧0点(コンテナ1箱分)	-	加東市収蔵施設より搬出
6	丸瀬戸集土資料	1面	未指定	考古資料	個人	古墳時代	直径143mm、高さ2mm	-	加東市収蔵施設より搬出
7	曹田・清水遺跡出土資料	22点	未指定	考古資料	加東市	白鳳～奈良時代	絆丸瓦2点、軒平瓦2点、二彩火舎1点、瓦葺瓦1点(コンテナ3箱分)	-	加東市収蔵施設より搬出
8	楯籠原集土出土資料	5点	未指定	考古資料	加東市	白鳳～奈良時代	絆丸瓦2点、軒平瓦2点、垂木先瓦1点(コンテナ2箱分)	-	加東市収蔵施設より搬出
9	河高・平田遺跡出土埴仏	1点	未指定	考古資料	加東市	奈良～平安時代	縦56mm×横85mm×厚20cm	-	加東市収蔵施設より搬出
10	木簡	1枚	市指定	考古資料	加東市	天禄3年(972)	縦670mm×横163mm×厚8mm	-	加東市収蔵施設より搬出

○その他の神社・霊堂

No.	通称	員数	指定種別	資料種別	所有者等	年代	法量		備考
							本体	台座	
11	木造地蔵菩薩立像	1軀	市指定	彫刻	東古瀬地区	平安時代	像高1515mm×柄150mm、幅576mm、奥行280mm	台座702mm×800mm×高さ85mm	所在地より直接搬出
12	木造十一面観音菩薩立像	1軀	未指定	彫刻	沢部地区	平安時代	像高1085mm×柄155mm、幅280mm、奥行270mm	台座480mm×440mm×高さ20mm	所在地より直接搬出
13	木造地蔵菩薩立像	1軀	未指定	彫刻	沢部地区	平安時代	像高950mm×柄155mm、幅310mm、奥行260mm	台座480mm×470mm×高さ225mm	所在地より直接搬出
14	木造薬師如来坐像	1軀	市指定	彫刻	多井田地区	平安時代	像高680mm、幅545mm、奥行422mm	?	所在地より直接搬出
15	木造薬師如来坐像	1軀	市指定	彫刻	北野地区	平安時代	像高683mm、幅673mm、奥行519mm	?	所在地より直接搬出
16	木造薬師如来坐像	1軀	未指定	彫刻	貝守地区	平安時代	像高695mm、幅711mm、奥行502mm	-	所在地より直接搬出
17	木造薬師如来坐像	1軀	未指定	彫刻	根谷地区	鎌倉時代	像高270mm、幅130mm、奥行140mm	台座径185mm×高さ95mm	光背高さ95mm×幅183mm×厚35mm
18	木造薬師如来坐像	1軀	未指定	彫刻	根谷地区	鎌倉時代	像高282mm、幅130mm、奥行130mm ①高さ730mm、幅380mm、奥行420mm ②高さ25mm、幅320mm、奥行400mm ③高さ520mm、幅230mm、奥行280mm ④高さ20mm、幅280mm、奥行410mm ⑤高さ550mm、幅320mm、奥行290mm	台座径200mm×高さ110mm 台座高さ82mm×幅173mm×厚25mm	加東市収蔵施設より搬出
19	木造獅子・拍犬	5軀	未指定	彫刻	厚利地区(加東市寄託)	鎌倉～室町時代	縦970mm×横410mm×厚25mm	台座500mm×400mm×高さ37mm(全て共通)	加東市収蔵施設より搬出
20	虚空蔵菩薩持法版本	1枚	市指定	彫刻	沢部地区	室町時代	高さ540mm、幅400mm、厚110mm	箱有()	所在地より直接搬出
21	八幡神社 毘沙門天石籠仏	1基	市指定	石造物	河高八幡神社	室町時代	軸径1430mm×横134mm	箱有(145mm×105mm×105mm)	加東市収蔵施設より搬出
22	絹本着色釈迦十六尊神図	1幅	市指定	絵画	花藏院(加東市寄託)	鎌倉時代	軸径2273mm×横1500mm	-	加東市収蔵施設より搬出
23	熊野観心十界図	1幅	市指定	絵画	持室院(兵庫県立歴史博物館寄託)	江戸時代	軸径2273mm×横1500mm	箱有()	所在地より直接搬出
24	大般若経	4巻	市指定	典籍	馬瀬地区(加東市寄託)	長治2年(1105)～	軸径:長さ約270mm	-	加東市収蔵施設より搬出
25	大般若経	4巻	未指定	典籍	河高地区(加東市寄託)	鎌倉～江戸時代	軸径:長さ約280mm	-	加東市収蔵施設より搬出

○無形民俗文化

No.	通称	員数	指定種別	資料種別	所有者等	年代	法量		備考
							本体	台座	
26	上郷川住吉神社神事舞 衣装	1式	未指定	無形民俗	加東市	-	衣装一式(コンテナ2箱分)、マホネン(体)	台座	加東市収蔵施設より搬出
27	神事能面	6面	県指定	彫刻	住吉神社(神事舞保存会)	室町時代	①冠着面197mm×149mm、②顔面206mm×163mm、③踵面196mm×170mm、④胸面183mm×146mm、⑤踵面196mm×136mm、⑥腰面255mm×190mm(隅)	台座	加東市収蔵施設より搬出
28	秋津百舌調 衣装	1式	未指定	無形民俗	西戸百舌調保存会	-	衣装一式(コンテナ2箱分)、心棒(法量?)1本	-	加東市収蔵施設より搬出
29	明光寺通達調 鬼面・翁面	9面	県指定	無形民俗	明光寺通達調保存会	室町～江戸時代	赤鬼高さ95mm、幅370mm、奥行254mm 黒鬼高さ468mm、幅322mm、奥行235mm 黄鬼高さ98mm、幅455mm、奥行225mm 緑鬼高さ430mm、幅344mm、奥行455mm 袴面高さ200mm、幅145mm、厚99mm	-	加東市収蔵施設より搬出

○御座山清水寺

No.	通称	員数	指定種別	資料種別	所有者等	年代	法量		備考
							本体	台座	
30	御座菩薩立像	1軀	県指定	彫刻	清水寺	白鳳時代	高さ180mm×台座幅、奥行1760mm	台座	所在地より直接搬出
31	木造毘沙門天立像	1軀	市指定	彫刻	清水寺	平安時代中期	像高692mm×足柄100mm、幅395mm、奥行208mm	台座395mm×319mm×高さ200mm	所在地より直接搬出
32	木造天竺立像	1軀	市指定	彫刻	清水寺	平安時代後期	像高1528mm(足納含む)、幅419mm、奥行233mm	台座450mm×465mm×高さ107mm	所在地より直接搬出
33	木造大日如来坐像	1軀	未指定	彫刻	清水寺	室町時代	像高667mm、幅400mm、奥行430mm	台座径720mm×高さ520mm	所在地より直接搬出
34	清水寺縁起	1巻	県指定	古文書	清水寺	建永元年(1206)	軸径:長さ約400mm	-	所在地より直接搬出

35	清水寺境内誘示図	1幅	県指定	古文書	清水寺	建永元年(1206)	軸装・長さ110mm	-	箱有	所在地より直接搬出	内蔵済
36	法道山人画像	1幅	未指定	絵画	清水寺	江戸時代	軸装・長さ613mm	-	箱有	所在地より直接搬出	内蔵済
37	清水寺写經院日記	1冊	市指定	書籍	清水寺	江戸時代	高さ133mm × 幅104mm	-	箱有	所在地より直接搬出	内蔵済
38	紙紙金字妙法蓮華經	2巻	市指定	典籍	清水寺	応永9年(1402)	軸装・長さ322mm	-	-	所在地より直接搬出	内蔵済
39	銅佛	1口	市指定	工芸	清水寺	永正3年(1506)	口径210mm、高さ91mm	-	-	所在地より直接搬出	内蔵済
40	菩薩	1点	未指定	工芸	清水寺	-	幅422mm × 奥行450mm × 高さ201mm	-	基石入・径120mm × 高さ57mm	所在地より直接搬出	内蔵済

○鹿野山晴光寺

No.	通称	員数	指定種別	資料種別	所有者等	年代	法量			備考	
							本体	台座	その他		
41	木遣千載普賢立像	1軀	県指定	彫刻	朝光寺	平安時代末期	像高1573mm + 足枿200mm、幅980mm、奥行3000mm	蓮華座径500mm × 高さ280mm、台座径900mm × 800mm × 高さ50mm	-	所在地より直接搬出	内蔵済
42	木遣地藏菩薩立像	6軀	未指定	彫刻	朝光寺	平安時代後期	いずれも像高約1000mm + 足枿約150mm	-	-	所在地より直接搬出	内蔵済
43	木遣地藏菩薩立像	1軀	未指定	彫刻	朝光寺	平安時代後期	像高525mm + 足枿100mm、幅175mm、奥行65mm	-	-	所在地より直接搬出	内蔵済
44	木遣太子立像	1軀	未指定	彫刻	朝光寺	平安時代後期	像高540mm + 足枿50mm、幅120mm、奥行75mm	-	-	所在地より直接搬出	内蔵済
45	木遣法道山人坐像	1軀	未指定	彫刻	朝光寺	鎌倉時代	像高1000mm + 足枿150mm、幅420mm、奥行170mm	台座幅640mm × 奥行220mm × 245mm	光背幅850mm × 高さ1600mm × 厚150mm	所在地より直接搬出	内蔵済
46	木遣法道山人坐像	1軀	未指定	彫刻	朝光寺	江戸時代	像高650mm、幅380mm、奥行280mm	台座1385mm × 185mm × 高さ290mm、台座2550mm × 380mm × 65mm	-	所在地より直接搬出	内蔵済
47	銅造千手観音菩薩立像	1軀	未指定	彫刻	朝光寺	鎌倉～室町時代	像高315mm、幅187mm、奥行130mm	-	-	所在地より直接搬出	内蔵済
48	曳覆聖院額板木	1枚	市指定	彫刻	朝光寺	江戸時代	高さ75mm × 幅37mm × 厚さ25mm	-	箱有	所在地より直接搬出	内蔵済
49	朝光寺納経記板木	1枚	未指定	彫刻	朝光寺	寛政7年(1795)	高さ285mm × 幅44mm × 厚さ8mm	-	-	所在地より直接搬出	内蔵済
50	旧朝光寺址採集草瓦	4点	未指定	考古資料	加東市	平安時代	群丸瓦2点、群平瓦2点(コンチナチ1箱分)	-	-	所在地より直接搬出	内蔵済
51	朝光寺地蔵	1枚	未指定	歴史資料	朝光寺	江戸時代	横1042mm × 縦822mm	-	-	所在地より直接搬出	内蔵済
52	大般若経	4巻	市指定	典籍	朝光寺	明徳元年(1390)～	軸装・長さ約290mm	-	-	所在地より直接搬出	内蔵済
53	銅口	1口	県指定	工芸	朝光寺	永仁3年(1295)	口径305mm	-	-	所在地より直接搬出	内蔵済

○加東四国巡礼

No.	通称	員数	指定種別	資料種別	所有者等	年代	法量			備考	
							本体	台座	その他		
54	重畳記	1冊	未指定	歴史資料	神呪寺	江戸時代	縦168mm × 横118mm	-	-	加東市収蔵施設より搬出	内蔵済
55	加東郡霊学会則	1枚	未指定	歴史資料	曾我地区	大正時代	縦272mm × 横392mm	-	-	加東市収蔵施設より搬出	内蔵済
56	加東郡八十八所霊場道案内	1枚	未指定	歴史資料	河高地区(加東市寄託)	昭和時代	縦157mm × 横118mm	-	-	加東市収蔵施設より搬出	-
57	八十八所霊場所在位置一覽時地図	1枚	未指定	歴史資料	加東市	昭和時代	縦258mm × 横539mm	-	-	加東市収蔵施設より搬出	-
58	加東四国霊場巡礼御朱印印鑑	4点	未指定	歴史資料	河高地区(加東市寄託)	昭和時代	番付印148mm × 108mm、宝印長さ84mm、札所番号印、寺印1400mm角	-	-	加東市収蔵施設より搬出	-
59	加東四国霊場巡礼御朱印	10点	未指定	歴史資料	河高地区(加東市寄託)	昭和時代	1枚当たり縦約170 × 横約90mm	-	全て合わせてコンチナチ1箱分	加東市収蔵施設より搬出	-



多摩美術大学美術館外観（正面）



多摩美術大学美術館外観（裏面）



特別展エントランス



講演会風景



展示会場風景



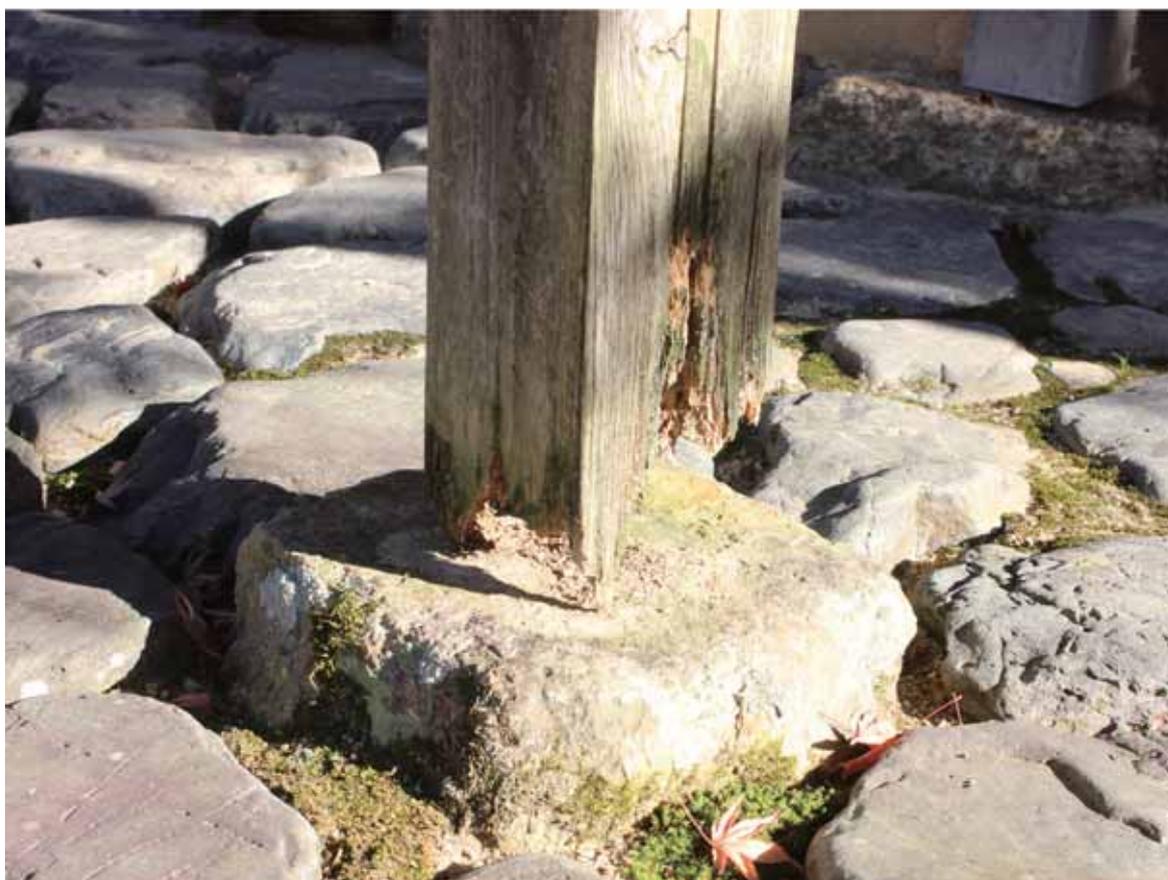
展示会場風景



展示解説風景



展示解説風景

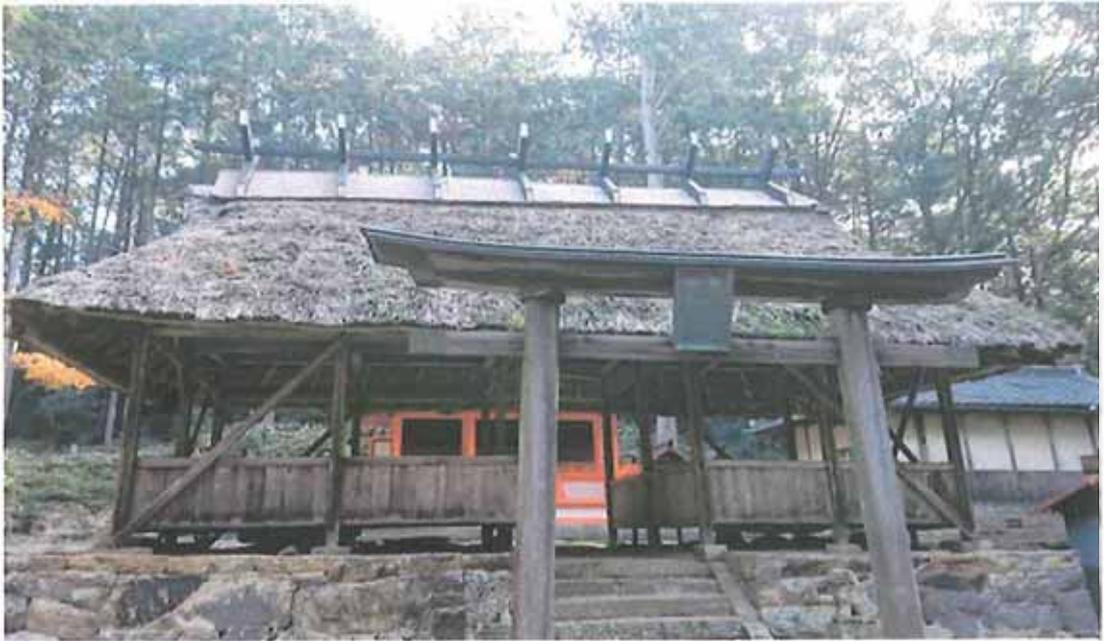


三草藩武家屋敷旧尾崎家中庭井戸の屋根材腐朽状況

上鴨川住吉神社 割拝殿

資料6

正面(東)



裏面(西面)



側面(北)



側面(南)



北東（角面）



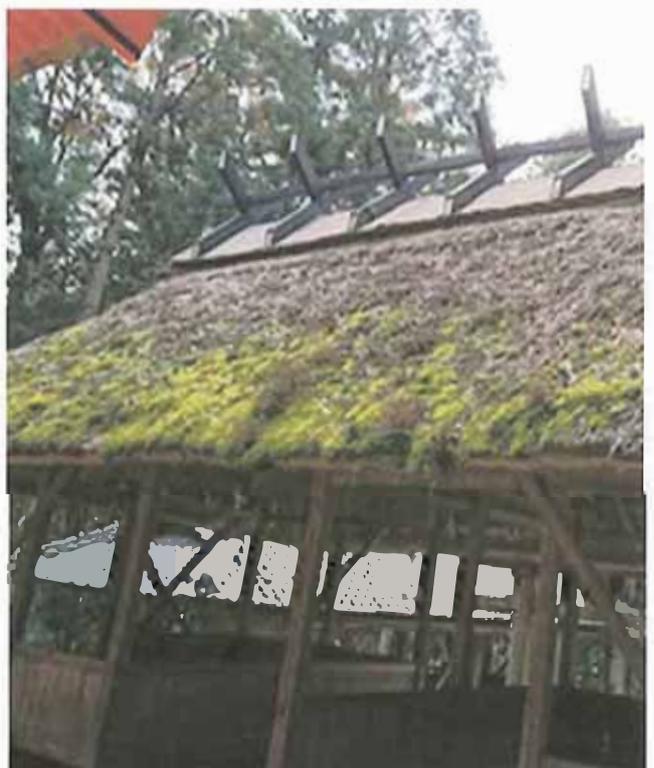
裏面（西面）



側面（北面）



側面（北面）





加東市指定文化財「毘沙門天石棺仏」





